進級・入園おめでとうございます。

今年の春の訪れは、いつもより少ない積雪に加え３月の暖かい日と相まって、例年並み以上のスピードで雪解けが進みましたが、コロナウイルス感染症の５類変更の報道以降例年の緊張感とは異なる感覚で３月の卒園・卒業式を迎えられた方も多かったのではないかと思います。コロナ感染症に苦しんだ今までの春とは異なる、本当に心躍る春の陽気に触れられるのも間も無くですね。

昨年４月からのアスベスト除去工事に始まり、５月からは旧園舎ホールの改築とさくら組の解体、７月からは新園舎の建築工事の開始と、落ち着かない一年となってしまいましたが令和５年３月には旧園舎の取り壊しも全て終了し、全園児新園舎での生活が始まりました。まだ園庭部分の工事が４月から始まり、保護者駐車場の整備や園庭フェンス・遊具や砂場の設置などが始まり、６月後半には子どもたちが遊べるようになるのではないかと考えております。また、保護者皆様の駐車スペースにつきましても、今後歩道部分の縁石の切り下げに始まり、アスファルト工事と急ピッチで進めることになりますが、工事期間中一部制約を受ける期間が続きますが、何卒皆様のご理解賜りますようお願い申し上げます。

WBC での侍ジャパンの快進撃は、野球ファンならずとも興奮した事と思います。
私も野球には興味のない人間でしたので、どの選手がどこのチームなのか皆目わからない人間で、知っているのは栗山監督とダルビッシュ選手、大谷選手くらいのものだったのですが、勝ち進むにつれドキドキしながら見ていましたが、だんだん選手の顔が、甲子園球児のような野球小僧のような顔に見えてきて、心底野球を楽しんでいるように見えました。野球に興味の無い私ですら WBC ロスでしたから、野球ファンの方々は大変な事だったと思います。

この４月から新しい官庁「こども家庭庁」が始動します。子どもだけではなく家庭もとか、幼稚園は除くとか、途中での方針の変更が見受けられましたが、どのような活動になるのかを見守って行きたいと思いますし、岸田首相が提唱する「次元の異なる子育て支援」がどのようなものなのか、大変興味深く期待したいところで、良い政策であることを期待したいですね。

こども園の中も新年度を迎え、新入園の子ども達は今までのご家庭での生活との違いに、不安や戸惑いを感じることがあると思います。
また、進級の子ども達もクラスのお友達や担任の先生が変わるなど、昨日までとは少し違った感じで過ごしていることと思います。
私共こども園職員も、子どもたちの気持ちをしっかり受け止め、子ども達にとって楽しい生活の場、学びの場となるよう努めて参りたいと思います。
保護者皆様も、お休みの時や早くお迎えにおいで頂ける時はお子さんと一緒の時間を楽しみ、幸せの瞬間を一杯作ってあげて下さい。その瞬間瞬間を子どもたちは、決して忘れることのない宝物として持ち続けるものと思います。